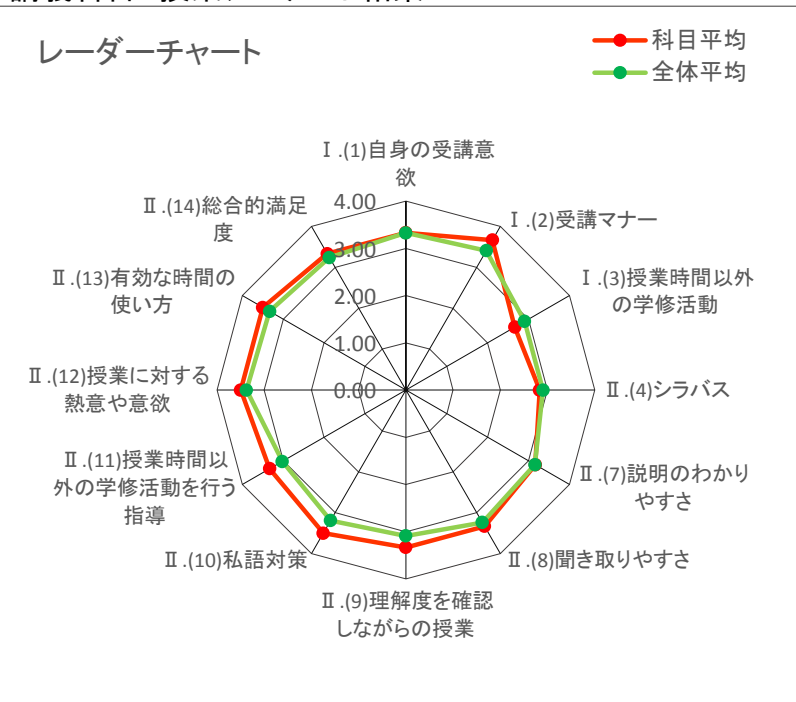
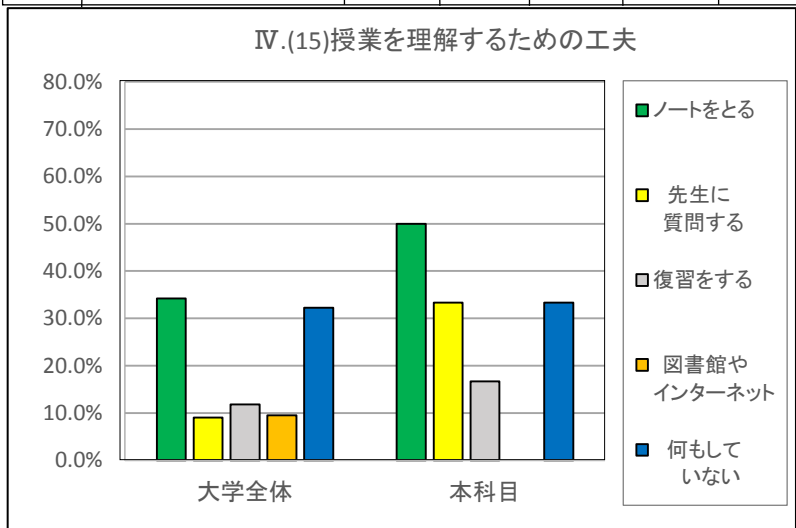


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%	33.3%



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2015年度 後期
時間割番号	51310
科目名	数理処理
教員名	

設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢 I.(1)	3.33	3.33
I.(2)	3.67	3.41
I.(3)	2.67	2.91
講義内容・方法 II.(4)	2.83	2.90
II.(5)		
II.(6)		
II.(7)	3.17	3.16
II.(8)	3.33	3.24
II.(9)	3.33	3.09
II.(10)	3.50	3.19
II.(11)	3.33	3.03
II.(12)	3.50	3.38
II.(13)	3.50	3.33
満足度 II.(14)	3.33	3.24

①授業計画の達成度について
 ●授業の目的を認識させた上で授業計画に従って授業運営を行っているか
 これ以上ないほど行っている。全15回授業の第1回目にこの授業の趣旨・目的、科目としての性質、勉強の仕方、教科書、授業の進行の仕方、授業中のマナーなど基礎的なルールについて周知徹底した。また、教科書が指定されているため、教科書に沿って順番に授業は進行した。これはシラバスの記述とも完全に合致している。
 ●学習の到達目標、および難易度は適切か
 当然適切である。そもそもこの「数理処理」科目は、基礎数学に続きSPIの非言語や公務員試験の数的推理や判断推理への準備も意図されており、それゆえそれらの基礎として最低限の内容を選んでいる。だから適切である。

②授業の進め方について
 ●声や言葉、説明は明瞭か？
 極めて明瞭である。本学で最も明瞭と言って過言ではない。
 ●学生の理解を確かめながら授業を進めているか？
 進めている。当該科目「数理処理」は授業中に教科書の問題をすべて学生に黒板上に解かせている。どこで躓きどういふふうで正解に至らないかは、毎授業時間で明確になっている。
 ●授業環境は守られているか？
 少人数(7名)であり、どの学生に関してもその一挙手一投足に注意しており、完全に授業を掌握している。
 ●学生の授業満足度は高いと言えるか？
 高いと言える。データを見れば、設問11・12・13のすべてにおいて全科目平均を大きく上回っている。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について
 1. 当該科目「数理処理」は次年度(2016年度)は講義担当しない。したがって、この科目に関しての授業改善計画は必要ない。
 2. 次年度(2016年度)は、担当授業科目についてVTR撮影などを行い、授業改善資料として活かしつつ、欠席学生や出席学生の復習のための視聴ツールとして活用できないか検討している。これにより、紙ベースの授業資料だけでなく、動画による学習効果が期待できる。

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.22	3.21
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.31	3.17
II.(4)~(13)		
総合的満足度 III.(14)	3.33	3.24